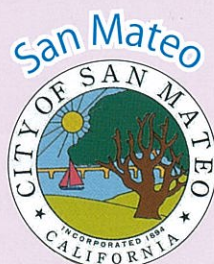


豊中・サンマテオ姉妹都市

提携ニュース 2014



<http://www.city.toyonaka.osaka.jp/>



<http://www.cityofsanmateo.org/>

豊中・サンマテオ姉妹都市協会
Sister City Association of Toyonaka-San Mateo

第44号



Sister City Association of Toyonaka-San Mateo

姉妹都市提携50周年記念 サンマテオ市親善訪問ツアー

2013年に豊中市とサンマテオ市とが姉妹都市として提携してから50周年を迎えることから、サンマテオ市およびサンマテオ姉妹都市協会より姉妹都市提携50周年記念式典への正式な招待をいただき、2013年8月15日(米国時間)から17日まで、当協会の國貞眞司会長をはじめ、浅利敬一郎市長、渡邊稔市議会議長のほか、当協会が募集した市民らがサンマテオ市を訪問しました。また、同時期に親善野球交流のために渡米していた豊中市少年野球チームの皆さんとも現地で合流しました。

滞在1日目 到着～歓迎レセプション

空港に到着すると、ロバート・ロス副市長(当時)のほか、サンマテオ市職員や姉妹都市協会員、親善使節のホストファミリーらが出迎えてくださいました。その後、市内にあるコヨーテポイント郡立公園で昼食をとり、バスにて市内を車窓見学し、サンマテオ大学を見学しました。

午後6時からは、セントラルパーク内の日本庭園で歓迎レセプションが開催され、サンマテオ市関係者や姉妹都市協会、市民のみなさんと交流しました。

滞在2日目 記念式典～公式晩餐会



2日目は、午前8時からサンマテオ市庁舎において市職員のみなさんによるレセプションが開催されました。午前9時からは、市議会議場において、記念式典が開催されました。サンマテオ・豊中両市による合同市議会というスタイルで行われ、デイヴィッド・リム市長(当時)、浅利敬一郎市長、渡邊稔市議会議長をはじめ、関係者のあいさつなどの後、両市長が「豊中市・サンマテオ市姉妹都市提携50周年友好促進宣言」に署名しました。

また、市庁舎前に姉妹都市提携50周年記念樹を植樹しました。その後、公共施設の見学に向かいました。サンマテオ市立図書館では館長のベン・オコン氏から丁寧な説明を受けました。館内には、豊中市が寄贈した図書や琴が展示されていました。

次に訪れた消防署では、マイク署長をはじめ署員らが消防車や署内施設を案内してくださいました。

警察署では、施設のほか、警察犬の訓練の様子や警察車両などを見せていただきました。署内の射撃訓練所では、実際に実弾射撃訓練を見せていただき、参加者らは興味深そうに見学していました。

最後に訪れたベイサイドSTEMアカデミーでは、特徴のある授業について生徒が説明をしてくれました。

午後6時からは歓迎レセプション、午後7時からは公式晩餐会がクラウンプラザホテルにおいて開催されました。当日は、デイヴィッド・リム市長、シンシア・シムズ教育長をはじめとする市関係者、ジェリー・ヒル＝カリフォルニア州上院議員、ダニエル・ハリス＝サンマテオ姉妹都市協会会長(当時)、サンマテオ市民など、約300人が参加しました。

席上、在サンフランシスコ日本国総領事館の渡邊総領事代理から、両市の交流における当協会とサンマテオ姉妹都市協会の長年の尽力を称え、両協会長に対し総領事表彰が授与されました。





滞在3日目 コミュニティ文化祭～さよならパーティ

最終日は、午前11時からセントラルパーク内の芝生広場でコミュニティ文化祭が開催されました。舞台では、ダンスやコーラス、日本舞踊などが披露され、広場では、折り紙や書道の体験コーナーなどがありました。

午後2時から、パーク内の野球場で豊中市とサンマテオ市の少年野球チームによる親善交流試合が行われ、熱戦が繰り広げられました。続いて訪問団は、市内にある日本庭園を訪問しました。また、市内の大型商業施設のヒルズデイル・ショッピングセンターを見学しました。



午後6時から、市庁舎においてサンマテオ市の訪問団受入準備委員会により、さよならパーティが開かれました。

滞在4～6日目 サンフランシスコへ

4日目以降、訪問団はサンマテオ市からサンフランシスコ市に移り、思い思いの時間を過ごされました。

最後に

今回の訪問では、サンマテオ市の市関係者の皆さんをはじめ、姉妹都市協会や市民の方々から非常に温かいおもてなしを受け、皆さんの姉妹都市交流に対する思いの強さを感じ取ることができました。そして、両市の友情の絆や信頼関係を一層深めることができました。

豊中市とサンマテオ市は、今後、友好促進宣言に基づき、次代を担う子どもたちの交流を積極的に進めていきます。当協会といたしましても、高校生英語弁論大会の親善大使の派遣とサンマテオ市からの親善使節の受け入れなどを通して交流を深めて参りたいと考えています。

サンマテオ市親善訪問ツアーに参加して

豊中市職員サンマテオクラブ会長 永原 武敏さん

私は、豊中・サンマテオ姉妹都市協会のサンマテオ市訪問ツアーに参加し、姉妹都市提携50周年記念式典に出席しました。

式典では協会が派遣された高校生親善使節の納さんと竹歳さんが感謝の気持ちを堂々と発表し、翌日のサンマテオ市議会では元気にスピーチを披露していました。私が一昨年に寄贈したバラは、順調に育っていました。

また、大阪大学サンフランシスコセンターの久保井亮一教授の歓待を受け、パターンソン公共事業部長や同部職員のエバンさんとも再会し、公共事業部の職員さんたちとのアイスクリーム懇親会は和やかな雰囲気にと終りました。

さらに、シムズ教育長やボーレル中学校のラーナ教頭、パークサイド小学校のローリー校長、ベイサイド中学校のエリオット校長、モンテッソリ小中一貫校のハリソン校長にもお会いすることができました。モンテッソリ校では高校生親善使節による子どもたちへの読み聞かせ教室が開かれ、保護者のコンロン夫妻にも再会できました。

今後も学校間友好交流が大いに盛んになるよう願っています。



サンマテオ市 訪問レポート

2013年8月15日～8月22日にかけて、「第41回高校生英語弁論大会」で豊中市長賞を受賞した納 茜さんとサンマテオ市長賞を受賞した竹歳 三優さんを親善使節としてサンマテオ市へ派遣しました。

お二人はホームステイを体験しながら、現地の人とのふれあいや文化の違いなど、様々な経験から刺激を受けて帰ってこられました。

豊中市長賞 納 茜さん



サンマテオ派遣を通して、私はコミュニケーション力を成長させることができたと思います。出発する前からホストファミリーに「上手く話せないかもしれないけど、沢山話しかけてください」とお願いすることを決めていました。

ホストファミリーは私の望み通り、絶え間なく様々な話をしてくれました。上手く言えなくても、最後まで理解しようとしてくれました。でも私は多少理解できなくても、そのままにしてしまう癖がありました。それではいけないと思い、明日こそは「もう一度言って?」「それ、どういう意味?」と訊いて、ちゃんと理解するようにしようと考えたのですが、いざその状況になるとやっぱり言えませんでした。

そのまま三日ほど過ぎてホストファミリーと一緒に、そのお友達の家へ食事に招かれました。そこには同じ年の女の子が四人とその両親たちがいました。皆、とても早口で英語を話していたので、私はついていく

ことができませんでした。また、皆とても楽しそうだったので、ゆっくり話してほしいとは言えませんでした。

私は独りぼっちになったような気がして、とても寂しくなり、途中で耐えきれなくなって、泣いてしまいました。すると、ホストファミリーが、外国で私と同じような境遇になったこと等を話してくれました。しばらくして、他の友達次々と私のところに来て私の好きな音楽の話などをして一緒に歌って盛り上がりました。彼女たちは本当に優しく、すぐに大好きになりました。それからは会話に加わり、自分の思うことを言ったりして、皆と笑い合って楽しい時間を過ごしました。

この経験から、もっと英語を勉強して上手く話せるようになりたいと思いましたし、理解することを諦めずにどんどん質問しようと思いました。それから私はわからないことに直面する度に質問し、覚えたことはメモをして、覚えた表現はすぐに使いました。それまでは言いたいことを頭の中で英語にしてから発言していましたが、もう、言えるかわ



からないけどとりあえず口を開いてみようと思うようになりました。

滞在の後半で竹歳さんと二人でショッピングをする機会がありました。少し不安がる私たちにママは「理解できなかつたら、『私たちは日本人なので、もう少しゆっくり話してもらえませんか。』とお願いすることをためらわないで。店員は必ずそうしてくれるわ。」と言いました。私は、お店で店員に話しかけました。結局、何も買わなかったけど、それは私たちにとっていい経験になりました。

まだまだ書き足りないほど楽しいことが沢山あり、それらのすべてが、自分の成長につながったと思います。サンマテオ滞りで学んだことを他の国でも日本国内でも忘れずに、さらに向上していきたいと思



このような貴重な経験をさせていただき、本当に良かったです。幸せでした。関わってくださった全ての方に感謝します。ありがとうございました。

豊中市長賞 竹歳 三優さん

私は、2013年8月に豊中市親善大使としてアメリカ、サンマテオ市に派遣されました。私にとってカリフォルニア州への訪問は初めてのことであったので出発前は緊張していたのですが、空港でホストファミリーが笑顔で迎えてくれたので、一週間、精一杯楽しもうという気持ちに変わりました。



ホストファミリーのみなさんは、滞在期間中に私をいろんな場所へ連れていってください、たくさんの経験をさせてもらいました。サンマテオ市内のビーチへ行ったり、サンフランシスコへ買い物に行ったり、ホストシスターの高校を見学しに行ったり、全てかけがえのない思い出です。日本にはない風景や文化に戸惑うこともありましたが、ホストファミリーが丁寧に教えてくださったので、たくさんのことを学ぶことが出来ました。

サンマテオ市内の市場へ行った時に、日本では見かけない野菜や果物、チーズ、パンがたくさんあり、目をキラキラさせて歩いていると、お店の人が「試食していきなよ！」と声をかけてくださいました。サンマテオ市の方々はフレンドリーなんだなぁと温かさを感じ、同時に英語で会話するという便利さや楽しさを改めて実感しました。現地の方とのジョークの入り雑じった他愛のない会話を出来たときはすごく嬉しかったです。

ホストファミリーの友達とホームパーティーをした時に日本の不況問題や教育問題、東日本大震災をはじめとする災害の話をする機会があり、他国の方がここまで日本のことを心配してくれていることに感動しました。

そして日本人の私が日本に住んでいて、あたり前だと特に問題視していなかった問題がたくさんあったことに気づかされ、他国から見た日本などを聞くことが出来たことで、もっと自分に知識があればもっと深い話が出来たのではないかと後悔し、英語以外の分野でも知識を向上させようと思われました。

このスピーチコンテストやアメリカ派遣で本当に素晴らしい体験をたくさんさせてもらいました。それは豊中市とサンマテオ市が、五十年間という長期間交流を大切に活動して頂いたからだと思いました。私が体験させてもらったように次期豊中市長賞、サンマテオ市長賞をとる後輩達にも素晴らしい体験をしてもらいたいと思いますので、これからも活動をして頂きたいと思いました。

今回私たちに関わってくださった全ての皆様に感謝します。ありがとうございました。



サンマテオ市訪問団が来豊

2014年4月13日から19日まで、サンマテオ市書記官のパトリス・オールズさんとサンマテオ・フォスターシティ学区教育長のシンシア・シムズさん、サンマテオ市内の小学校校長のフィリス・ハリソンさん、中学校校長のコニー・シリメリさん、サンマテオ姉妹都市協会のキャロライン・シャベルさん、陽子アンダーソンさんが豊中市を訪問されました。

滞在中には、豊中市長および豊中市議会正副議長を表敬訪問したほか、公共施設や学校の見学、京都・奈良視察など、さまざまな交流活動に取り組みられました。当協会も歓迎パーティーを豊中市と共催で千里阪急ホテルで開催するとともに、大阪城などをご案内しました。



第42回

高校生英語弁論大会

The Annual English Speech Contest

2014年1月25日(土)、とよなか男女共同参画推進センターすてっぷにて、豊中・サンマテオ姉妹都市協会主催の「第42回高校生英語弁論大会」を開催しました。大会では、11校28人の応募者の中から、事前審査により選ばれた9校20人の高校生が参加し、日頃の練習の成果を発表しました。



賞	受賞者	高校名/学年	演題
豊中市長賞	中村 眞子	神戸女学院高等学部 / 1年	The Voice of Youth 若者よ、声をあげよう
サンマテオ市長賞	日高 充喜	豊島高等学校 / 1年	My Challenge 私の挑戦
国際ソブチミスト特別賞	古賀 涼太	刀根山高等学校 / 2年	Art for Beautiful Life 素晴らしい人生のためのアート
優秀賞	清野 智恵	箕面高等学校 / 2年	Bushido 武士道
優秀賞	伊島穂乃佳	豊島高等学校 / 2年	The Meanings of Mothers' 'Whys' 母親が問う「どうして?」の本当の意味
審査員特別賞	中村 有里	箕面高等学校 / 2年	Ballet My Treasure バレエ、私の宝物

豊中市長賞の中村さんはイギリス留学中に、他国の同世代の留学生が、日本で起こった地震や津波・原発問題に対して自分の意見を持っていることに衝撃を受けたことがきっかけで、自身も政治や国際問題、社会問題などに対して意見を持ち、はっきりと力強く発信していきたいと語りました。

サンマテオ市長賞の日高さんは、①授業の受け方を変える、②整理整頓を心がける、③プレゼンテーション能力を上げる、という3つのことで自分の生活を変えようと努力していること、また、それによって以前より、自分のことが好きになれたような気がするかと語りました。

国際ソブチミスト特別賞の古賀さんは、ポップミュージックアーティストのレディ・ガガの生き方に感銘し、将来への活力や向上心を持つことができたこと、また、アートと触れ合うことで世界を豊かにしようかと語りました。

審査は、千里金蘭大学教授のジュディ・ガーナントさん、大阪女学院大学教授のブライアン・ティーマンさん、大阪女学院大学准教授のウィリアム・クラインさん、当協会監事の川合隆子さんにより行われました。

審査員講評では、「一人一人が自分の伝えたいポイントを押さえて、そこを十分理解してスピーチを作られ、発表していることに、審査員一同とても感心した。それぞれ良いところがあって、その中で順位を決めるのはとても難しかった。」との意見がありました。また、「高校生の皆さんは今、何でも吸収できる時期なので、これからも英語を勉強してほしい。」という激励の言葉がありました。



なお、豊中市長賞受賞の中村さんとサンマテオ市長賞受賞の日高さんは親善使節として、2014年7月30日から一週間程度サンマテオ市へ派遣され、ホームステイを体験しながら、様々な交流活動に参加する予定です。

(中学生英語スピーチ発表会)

高校生の発表後、審査結果発表までの時間を利用して市教育委員会と共催する「中学生英語スピーチ発表会」が行われました。

中学生による英語スピーチは、若い世代に当協会のことを知ってもらうこと、また英語に慣れ親しんでもらう機会となることを目的として、第39回大会から開催されています。

今回は豊中市立中学校18校から募集し、抽選で選ばれた4校5人が発表しました。英語に慣れ親しんでもらうことを目的としているため、審査はありませんでしたが、皆さん緊張しながらも一生懸命発表し、会場からは温かい拍手がおくられました。

発表後、豊中市教育委員会の大源教育長から表彰状が授与され、当協会の國貞会長から記念品を贈呈しました。



学校名・学年・発表者	演題	学校名・学年・発表者	演題
第三中学校 1年 井原 彩耀	Rich nature and heartfelt town Toyonaka 緑豊か、心豊かな街 豊中	第三中学校 2年 遠藤 徳泰	My junior high school 私の中学校について
第一中学校 1年 小澤 琴弓	My school 私の通う中学校	第十六中学校 2年 碓塚 悠太	Our Kendo Team 十六中剣道部
第八中学校 1年 山下 絵梨奈	Do you know San Mateo City? サンマテオ市を知っていますか。		

※ 国際ソロプチミスト特別賞は、国際ソロプチミスト豊中-千里からの協賛により設けられています。

サンマテオ市親善使節が豊中市を訪問

2013年7月14日から26日までの約二週間、サンマテオ市高校生親善使節のシャロン・ボーデンさんとキャメロン・ヒルさんが豊中市を訪れ、ホームステイを体験しながら、豊中市長および豊中市議会正副議長を表敬訪問したほか、中学校・高校での授業体験や部活動見学など、さまざまな活動に参加し、市民との交流を図りました。



謝
論

豊中とサンマテオの友好関係がずっと続くことを心から願っています。少年野球など現在の交流は、今までに培った強い友情を維持するのに役に立つでしょう。また、両市の学校の生徒たちが文通すれば交流関係を深めることができると思います。これからまた50年、素晴らしい友情が続きますように。
(キャメロンさん)



私は、これからも豊中市とサンマテオ市が親善使節を派遣しあうべきだと思います。こうした交流プログラムは大変重要で、教育に良いと思います。また、継続的に文通するのも関係を維持する良い方法だと思います。私たちはテクノロジーが発達した時代に生きていますので、スカイプやオンライン・ビデオチャットなどで、フェイス・トゥ・フェイスの交流もおもしろいと思います。
(シャロンさん)

新市長はロバート・ロスさん

2013年12月にサンマテオ市議会の改選があり、新市長はロバート・ロスさんに決定しました。また、ジョー・ゴースルスさんが議員として新たに加わりました。



(左から)ロバート・ロス市長、モーリーン・フレシェット副市長、デイヴィット・リム議員、ジャック・マシューズ議員、ジョー・ゴースルス議員

◆米国サンマテオ市姉妹都市協会会長 ギャヴィン・オーエンさん

2014年度事業計画(案)

1. 豊中・サンマテオ市民の交流活動の促進
2. サンマテオ市親善使節の受け入れ(7月中旬～下旬)
3. 第42回高校生英語弁論大会成績優秀者2人のサンマテオ市派遣(7月30日～8月6日)
4. 第43回高校生英語弁論大会の開催(2015年1月31日)
5. 広報活動の推進
 - 姉妹都市提携ニュース(第44号)の発行
6. その他協会の目標達成のために必要な活動